

The Japanese
Society of
Practitioners for
Pediatric Dentistry

JSPP

【入会方法】JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。
年会費 10,000円、入会金 20,000円

いまさらですが、 「小児歯科って何？」



会長 池尾元三朗
(奈良市開業・池尾小児歯科)

1983年に開業して27年もたつと、子どもだった患者が「先生、子ども生まれた、歯も生えてきたから見て！」と連れてくる。下顎にAが2本…。そう、これが長い付き合いの始まり。

「ここしか来たことがない」とぼそつと言う高校生、どうやら遠方の大学に進学するらしい。「お休みの度においでよ、いままでと一緒ね」。

「やっぱり先生のとこ行く、いいですねん」そろそろ近所の歯医者に連れて行こうとした母親が正直に告白する。泣いて暴れてたくせにな。泣いて暴れてたのは誰だよ？ 今度は先生が泣けるわ。

「幼稚園のお友達に聞いてきました」と上の子。「次は下の子も一緒にいいですか？」と下の子。緊張する母親の心配などどこ吹く風と余裕の子どもたち、治療の様子を見て、そのうち母親が「先生、私も…ここなら怖くない！診てほしい」だって。やがて、そんなこんなで父親も祖父母も。ファミリーでうちの患者さん。

「あ、6歳臼歯生えてきたね」って言ったら、「え、うそ、大人の歯ですか」と母親。「一番最初に先生が見たようー」って、これが小児歯科医の至福の時。ぴっかぴっかの6番なんてなかなかお目にかかれるもんじゃない。この6番を絶対むし歯にしない、させない、心に誓う。「うらやましいなあ、きれいな歯」と母親。「ママ、銀歯あんねんなあ」と子ども。

「だってママが子どものとき、こんな歯医者さんなかったもん」。「あんたらええなあ」。

ぴっかぴかの6歳臼歯を見るたびに新鮮な喜びが込み上げて、がんばろうと思う。

自分の治療の様子を鏡で見続ける子ども。「あんた手だ

るくないの」「先生のじゃまやん、鏡おろし」と母親。「おもしろい」と兄弟の治療も食い入るようにかぶりついて見ている。

そういえば、何人かが歯医者になってくれました、君の先輩患者さんが。

「この前の歯科検診で歯医者さんが、きれいな歯してるなって言うてもろた(注：言うてもらった)」と高校生、たいていの友達には銀歯があったそうなの。

子どもとかかわる仕事は幸せだ。その子の未来に通じる何かを今ここで、奇跡の瞬間かもしれない今、かかっているのだから。

あ、今ここで泣いて暴れるなよ。奇跡の瞬間なのに、こら、おとなしせんかい。(注；おとなしくしなさい)

診療室で子どもたちと母親たちと共に生きて、成長して、またこれからも成長し続けたいと思う。子どもたちと生きていくことのすばらしさ、子どもたちから教えられることの多いこと。時代が変わってもやっぱり子どもはずごい。

少子高齢化といわれるこの時代にも、子どもは存在する。子どもの時からしっかりと診る、見る、看ることが大事。来年のJSPP総会では小児歯科の素晴らしさを是非語り会おう。

JSPPの活動

JSPP(全国小児歯科開業医会)は小児の保健の向上と小児歯科臨床のより良い発展のための活動を行っています。

①総会・研修会の開催

小児歯科臨床と小児の保健に関する研究会を開催し、会員相互の親睦とともに小児歯科医療保健の研鑽に努めています。

②患者紹介ネットワーク

全国の会員をネットワークで結び、患者さんの紹介や情報の交換を行っています。

③研究助成

大学や研究機関での研究を助成して、若い研究肩の育成に協力しています。

④月刊「小児歯科臨床」の編集協力を行っています。